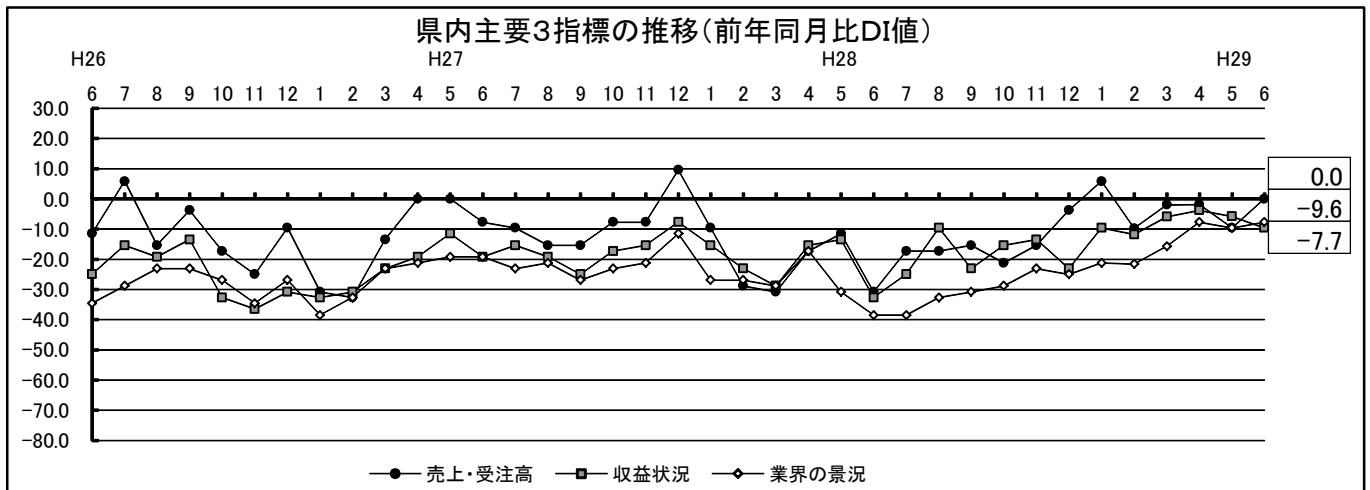


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年6月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 6月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「取引条件」「業界の景況」の3指標が上昇した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より9.6ポイント上昇の0.0ポイント、「収益状況」が3.8ポイント下降の-9.6ポイント、「業界の景況」が1.9ポイント上昇の-7.7ポイントであった。
- 県内企業においては、5月度の調査でマイナスを示していた指標のうち「売上高」が特に大きな回復を見せた。しかし、その一方で、「設備操業度」については大きくマイナスを示す結果となった。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	0.0	+9.6	-10.8	-0.6
収益状況	-9.6	-3.8	-16.2	0.9
業界の景況	-7.7	+1.9	-18.0	0.3

売上・受注高

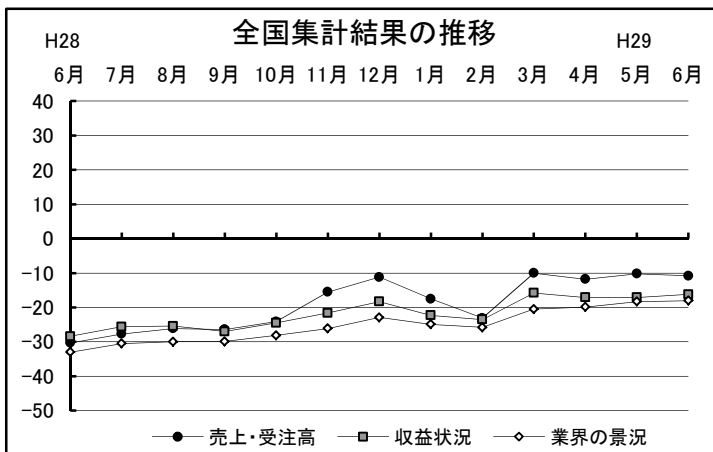
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より9.6ポイント上昇の0.0ポイントとなった。全国においては、前月より0.6ポイント下降の-10.8ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より3.8ポイント下降の-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より0.9ポイント上昇の-16.2ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント上昇の-7.7ポイントとなった。全国においては、前月より0.3ポイント上昇の-18.0ポイントとなった。



-概 況-

6月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「売上」「条件」「景況」が改善し、「在庫」「価格」「収益」「資金」「設備」「雇用」の6指標が悪化した。主要3指標は、「売上」が前月より9.6ポイント上昇の0.0ポイント、「収益」が3.8ポイント下降の-9.6ポイント、「景況」が前月より1.9ポイント上昇の-7.7ポイントであった。指標を個別に見ると、6月は2指標で上昇傾向を示しているなかで、「売上」が大きく上昇し、マイナスの値を脱した。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が下降した。「収益」は製造業で1業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で2業種が上昇、2業種が下降した。「景況」は製造業で2業種が上昇、1業種が下降し、非製造業では1業種が上昇、2業種が下降した。

景気動向は多くの場合、外部的要因に左右されるところが大きいですが、多少ながら持ち直しの傾向にあるようである。先行きについては、人手不足に対する懸念もある一方、本県においては売上や景況の回復など期待がみられる部分もある。海外からのマイナス要因を打ち消すことができるような、また、内需の動きを活性化できるような、国内におけるプラス材料が望まれる。今後も内需不振や人手不足といった問題の早急な緩和の兆しはなく、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	×	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	×	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	○	△	△	△	○	△	○
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	○	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	25.0	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0
木材・木製品	0.0	-50.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0
鉄鋼・金属	-25.0	25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	0.0	-16.0	4.0	0.0	-12.0	-8.0	-4.0	-8.0	-12.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.6	-14.3	0.0	-14.3	-14.3	-14.3		0.0	-28.6
サービス業	16.7		0.0	0.0	-16.7	16.7		16.7	16.7
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	0.0	-10.0	3.7	0.0	-7.4	0.0		3.7	-3.7
全体	0.0	-14.3	3.8	0.0	-9.6	-3.8	-4.0	-1.9	-7.7

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
売上高	-30.8	-17.3	-17.3	-15.4	-21.2	-15.4	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	9.6
在庫数量	-11.4	-22.9	-22.9	-31.4	-28.6	-14.3	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	-5.7
販売価格	-7.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	-1.9
取引条件	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	1.9
収益状況	-32.7	-25.0	-9.6	-23.1	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-3.8
資金繰り	-11.5	-9.6	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-3.8
設備操業度	-16.0	-28.0	-16.0	-16.0	-8.0	-4.0	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-12.0
雇用人員	3.8	-1.9	0.0	0.0	0.0	-5.8	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	-3.8
業界の景況	-38.5	-38.5	-32.7	-30.8	-28.8	-23.1	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	1.9

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	50.0	50.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0	25.0
木材・木製品	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-50.0	-50.0	0.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	8.0	-12.0	0.0	0.0	-8.0	-8.0	-12.0	-4.0	4.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3		0.0	-14.3
サービス業	-16.7		-16.7	0.0	-33.3	-16.7		0.0	-16.7
建設業	40.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	50.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-50.0	0.0
非製造業	11.1	10.0	-3.7	3.7	0.0	0.0		-3.7	0.0
全体	9.6	-5.7	-1.9	1.9	-3.8	-3.8	-12.0	-3.8	1.9

特記事項

情報連絡員報告（平成29年6月分）

所属組合	特記事項
味そ製造業	売り上げは伸びたものの、29年産米の価格が12%上がる。また、加工用米が入手困難の為生産にも響いてくる見込みである。
酒類製造業	各組合員営業活動を頑張っている。組合としても、毎年行っている、栃木の地酒を楽しめるイベントを開催する予定である。
外衣・シャツ製造業	消費者の低価格志向は根強く、百貨店向けは特に厳しい。支出の優先順位も下がり、当面は回復が見込み辛い。
染色整理業	好景気感が見込めない。3月末で組合員の廃業が1社あった。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	秋冬シーズン、来春夏に向けての動きを注視している。 7月から新シーズンの企画が始まるので、そこに向けて各社ともサンプル等、新提案に注力している。
一般製材業	前年6月の売上が良かった事もあり、今年の6月は売上高は減少となってしまった。5月の売上が良かったので残念であるが、7月で取り戻すことが出来るよう、営業努力していく。
集成材製造業	業界内では値上げの話は出てきたが、実行まで至っていないようだ。原材料が上がる見通しなので、適正な価格に戻ってほしい。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など、厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	肥料価格改定が6月よりあり、今年度は若干値上げすることが出来たため、価格は昨年に比べて上昇した。6月の出荷数量が若干減少した為、売上高は不変とした。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連…スバル受注が引き続き好調である。 大型機械関連…中国からの受注が回復傾向にある。 金型部品関連…乗用車金型が順調であり、バス等大型金型の受注も増加している。 中小零細企業で特にオーナーが60歳以上で後継者がいない先は、得意先からの締め付けが厳しい。
一般機械器具製造業	政治動向が不安定となっていることが原因か分からないが、景気の安定がない。今後の見込みもあまり良い話がない。
一般機械器具製造業	6月分の報告は前年同月と比較し、一部の企業を除き全体的に不変という報告を受けた。しかし、売上高並びに設備操業度等に関し、やや減少傾向ありとの報告も受けている。また仕入れ単価についても上昇との報告もあった。

各種商品卸売業	<p>昨年同期と比べ大きな景況変化はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料卸売業…配送料の値上げ要請があった(ドライバー不足による)ため、やむを得ず要請に応じた。6月決算においては、利益率が改善され、売上高は減少したものの、目標利益は達成できる見込みである。 ・輸送用機器販売業…来春卒業見込者採用活動中である。ここ数年売り手市場が続き厳しいが、企業の将来のためにも何とか確保したい。 ・理化学機材卸売業…3月決算において、前年度に比べ売上高、利益ともやや減少であった。
食肉小売業	<p>牛肉・豚肉・鶏肉に関しては、国内外の相場が高い。販売は微増であるが、利益が少ない状態である。</p>
各種商品小売業	<p>5月期に続き低調な6月期であった。一般小売(物品)、そして、大型店も同じようであったと聞いている。もちろん、販売価格も低く苦戦の月であった。業界(卸業)も同じような状況であると聞いている。</p>
各種商品小売業	<p>半年以上空床となっていた1階の大型区画の店舗が6月下旬にいよいよオープンした。先月まではその分の売上減を埋め切ることができず、前年割れが続いてしまっていたが、7月以降確実に挽回していきたい。雨が少ない時期が続いていたが、施設とすると雨天時の方が好調な結果が多いことから、今後の雨量についても注視していく。</p>
花・植木小売業	<p>市場の状況を見ると6月後半の産地切り替え時期に品薄感のでた品目もあったが、全体的には順調に入荷量があり、昨年と比較して入荷増・単価安傾向での市場推移となった。本格的な梅雨の時期を迎えて婚礼需要は一段落し、またこの時期は花持ちが悪いため小売の動きも鈍い。葬儀件数は平年並みだが葬儀規模が小さくなってきており、花の業務需要が減ってきている。この時期の新たな需要開拓を話し合っていきたい。</p>
理容業	<p>高齢による組合脱退者は以前より深刻な問題となっているが、経営状態の悪化により、組合を止むを得ず脱退しなくてはならない方もおり、今後の対応策が必要になってきている。組合として、救済できることを考えていきたい。</p>
自動車整備業	<p>前年同月に比べ売上高が大きく減少した。</p>
ビルメンテナンス業	<p>求人を出しても人員が充足せず、慢性的な人手不足、残業増加の状況が続いている。</p>
給食センター	<p>新規の得意先等の弁当食数増があった為、売上高は前年同月比で増加となった。新調理法で製造のシニア向け弁当の拡販等・コストダウンにより、収益は改善されていくと思われる。</p>
旅館・ホテル	<p>6月の業況は全体としての増減は半々で、概ね横ばいといったところ。但し昨年度は全体に減少していたので依然厳しい状況だ。最近2軒の宿が休館した。また、従業員不足が深刻な問題となっている。</p>
旅館・ホテル	<p>宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなってきている。5月、6月は各種団体の総会時期にあたり、例年通り推移している。</p>
一般土木建築工事業	<p>若年の技術者が入社しても、すぐに退社する人が見られる。問題は、よくわからないうちに退社するので、対応ができないことであるようだ。</p>

<p>内装工事業</p>	<p>栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは 516%増、敷物用ラベルは6 %増、壁装用ラベルは 11%減であった。ラベルの支給(売上)金額では 58%増であった。本月 4 月～6 月累計では、前年同月比カーテン用ラベル 302%増、敷物用ラベル 15%増、壁装用ラベル 20%増であった。4 月～6 月ラベル支給(売上)金額は 53%増であった。カーテン工事は東京都内商業施設・県内病院で、壁装工事については、県内病院・ホテル新築工事での受注が目立った。</p>
<p>一般貨物自動車運送業</p>	<p>例年荷動きは減少傾向を示す時期であるが、今年度は比較的順調に推移している。しかしながら、ドライバー不足は深刻であり、受注量を消化できない事業所も散見される。</p>
<p>貨物軽自動車運送業</p>	<p>6 月前半は、貨物の受注量は低迷したが、後半に入り自動車関連貨物が持ち直したものの貨物全般的に低迷している。景況感は一進一退の状況下にある。募集しても人が集まらず、ドライバー不足は解消していない！</p>
<p>一般乗用旅客自動車運送業</p>	<p>週末の夜間又は、荒天時等時間帯によってはタクシーが無い状態が散見される。各社、乗務員不足の影響があると思われる。</p>
<p>大谷石採石業</p>	<p>前年同月比で貼石関係は微減、積石関係は 1 割程減した。4 月 1 日からの値上により大谷石の自然石から大谷石を粒にして造るブロック（人造大谷石）堀への移行が目立つとの話があった。</p>